



第73回結核予防全国大会研鑽集会20220308

低まん延 新たな目標に向かって
- 2035年までに罹患率7/10万を -



ストップ結核パートナーシップ日本・結核研究所
森 亨

Stop TB Partnership

IN THE FIGHT AGAINST TB THE HERO
COULD BE YOU

ストップ結核パートナーシップ・日本

結核のない世界へ

—— Towards a TB Free World ——



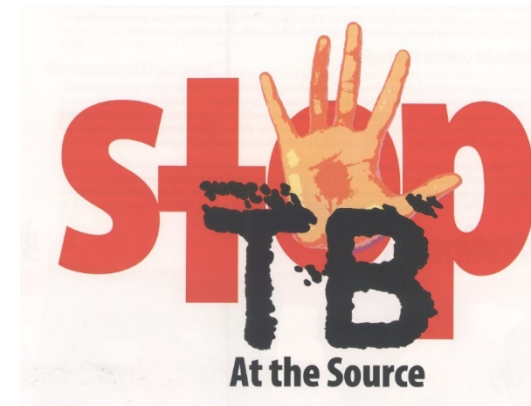
「世界結核緊急事態宣言」(WHO, 1993)

DOTS政策(WHO, 1994)

「健康への投資」(世界銀行, 1996)

抗結核薬基金(WHO/STBP, 1998)

世界エイズ結核マラリア基金(2000)



DOTSからSTOP TBへ

Stop TB Partnership

ストップ結核パートナーシップ

- 「結核のない世界」をめざして2001年に創立
- 700を超える国際組織、国、公私援助機関、政府/非政府機関が大同団結
- 日本からは：結核予防会結核研究所・近畿中央病院呼吸器センター・結核病学会・製薬企業等（米国からは114）
- 活動：世界薬剤基金＋機能別部会－技術協力・政策立案＋普及啓発＋研究開発促進



WHO + Stop TB Partnership

ストップ結核戦略(2006) 結核のない世界への展望

目標

- 2015年までにミレニアム開発目標(MDG)とSTBP目標に沿って世界の結核負担を激減させる

目的

- 良質の診断と患者中心の治療をどこでも受けられるように
- 結核による苦痛と社会経済的負担を軽減
- 貧しい人、脆弱な人を結核、結核HIV、多剤耐性結核から守る
- 新技術の開発を支援し、それらを効果的に利用できるようにする

標的

- **MDG6, 標的8**: ...結核罹患率の増加を2015年までに止め、逆転させる
- 2015年までに新発生塗抹陽性の70%を発見、その85%以上を治癒させる
- 2015年までに結核有病率と死亡を1990年に比して半減
- 2050年までに結核を公衆衛生の問題でなくする(罹患率人口百万対1以下に)

依然として結核は世界の健康問題...

(三大感染症)

2020年 新規患者(感染者)数および死亡者数(推定)

	新規患者数	死亡者数
結核*1	990万人(127/10万)	151万人※(19.4/10万)
HIV*2	170万人 (感染者)	68万人 (AIDS関連死)
マラリア*3	2億2900万人	40.9万人

※うち 21.4万人はHIV合併

世界閣僚会議(モスクワ、2017)
国連ハイレベル会合(ニューヨーク、2018)
G20大阪サミット(大阪、2019)

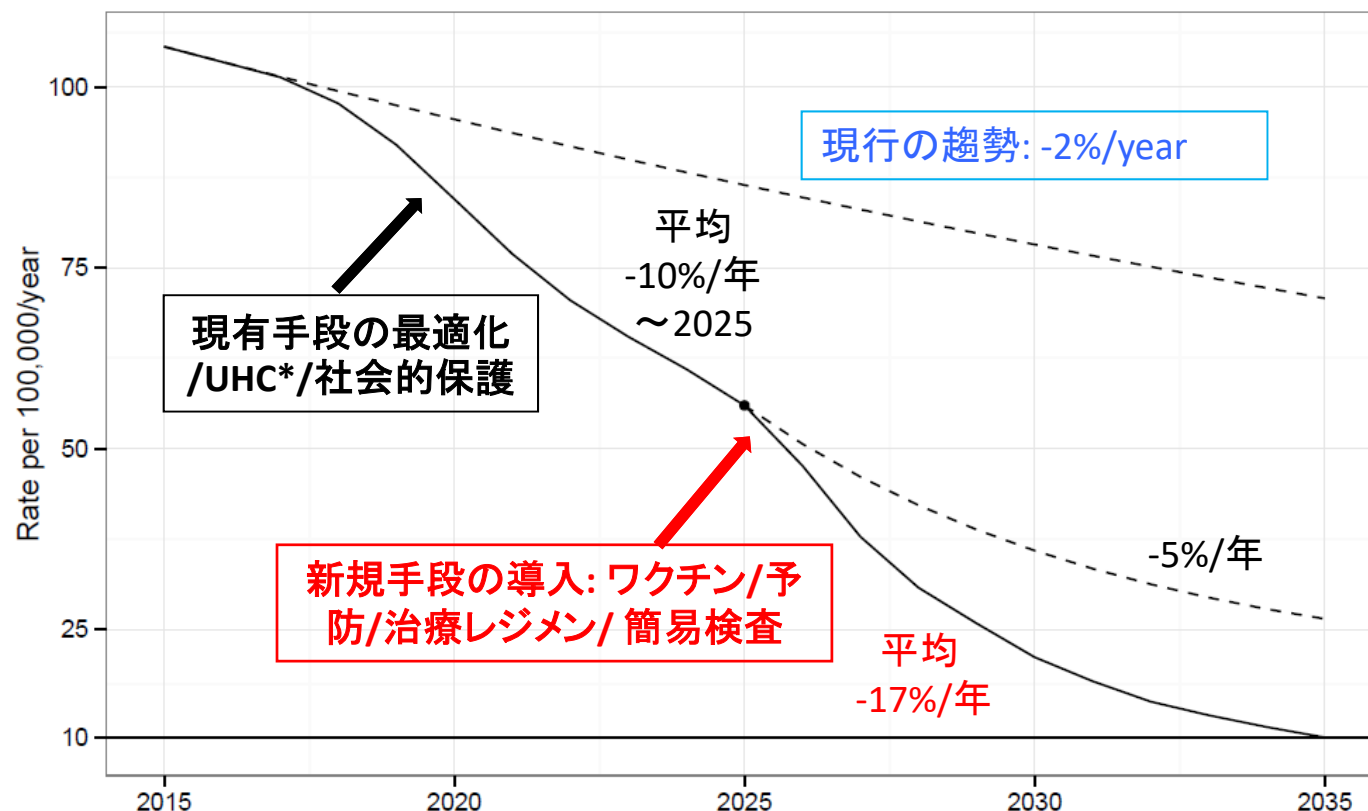
*1 WHO: Global tuberculosis report 2021より作成

*2 UNAIDS: FACT SHEET 2020より作成

*3 WHO: World malaria report 2020より作成

End TB（結核終息）への道のり

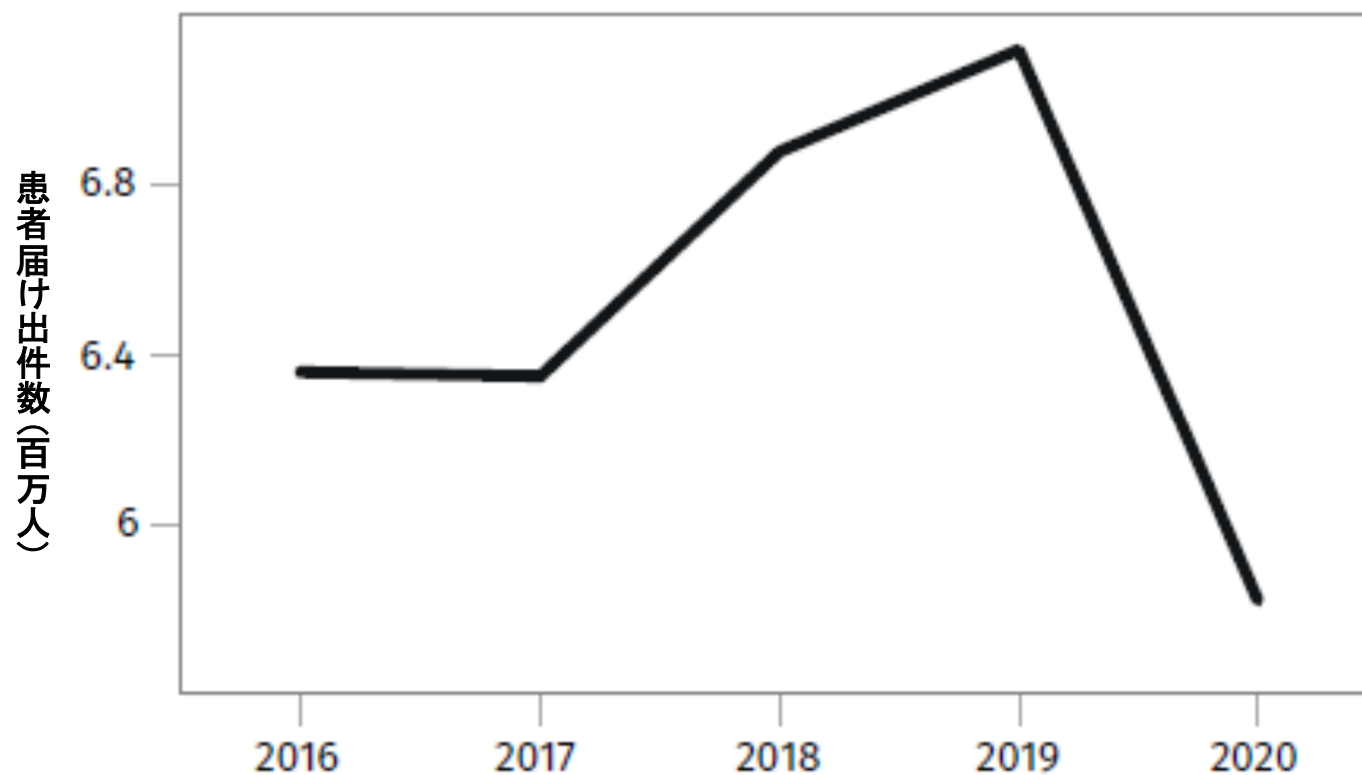
(WHO Global TB Report, 2020)



* UHC: Universal Health Coverage. 誰もが費用の懸念なく医療サービスを利用できる社会体制

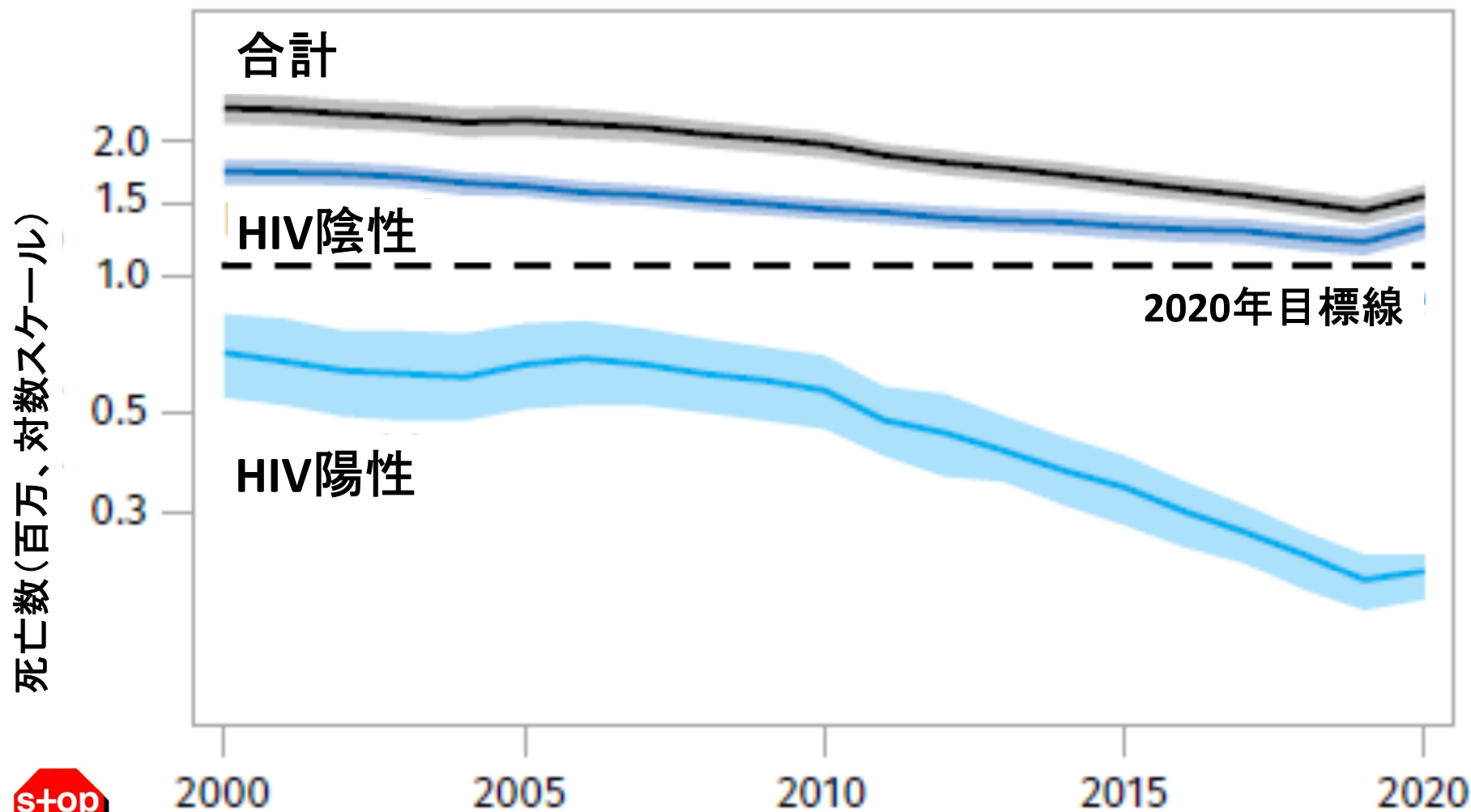


84か国の患者届け出数の変化 2016-2020年



(WHO, 2021)

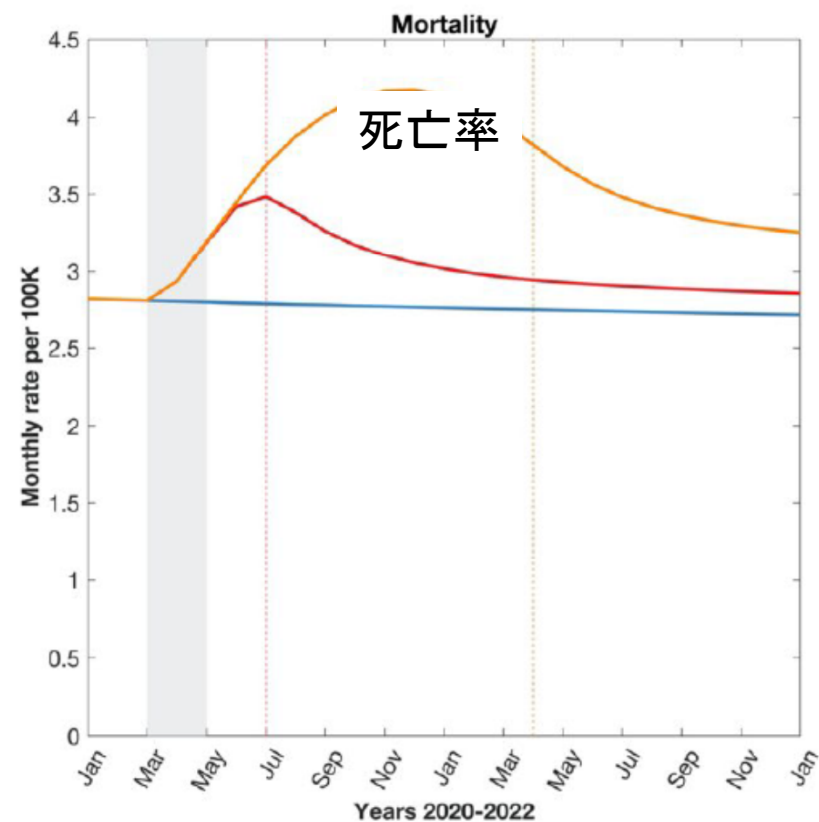
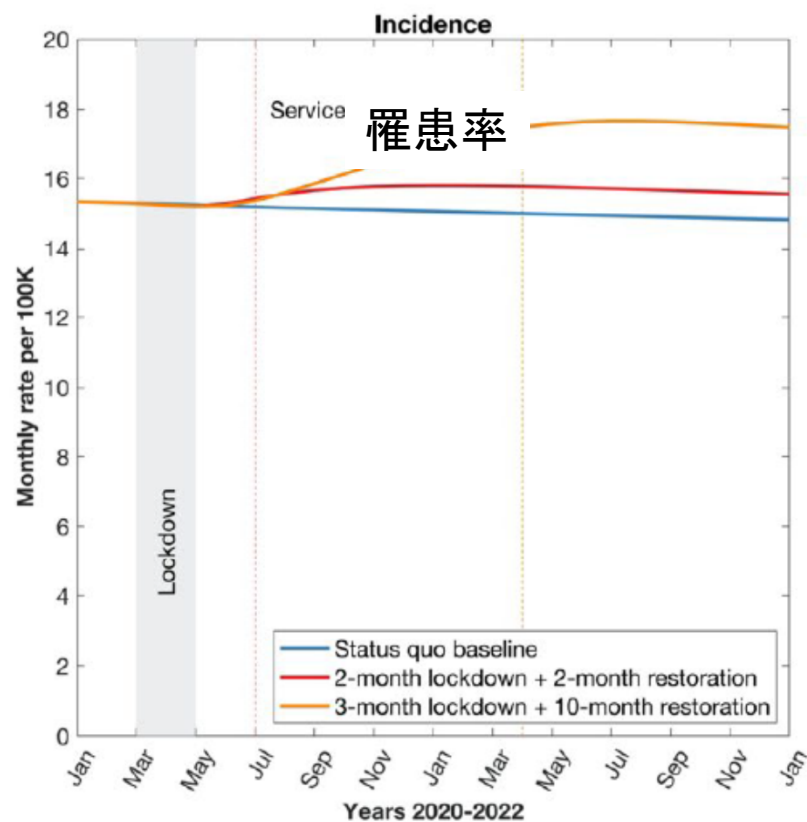
コロナで結核死亡(推定)は逆転増加



(WHO Global TB Report 2021)

Covid-19による社会閉鎖の影響、罹患率および死亡

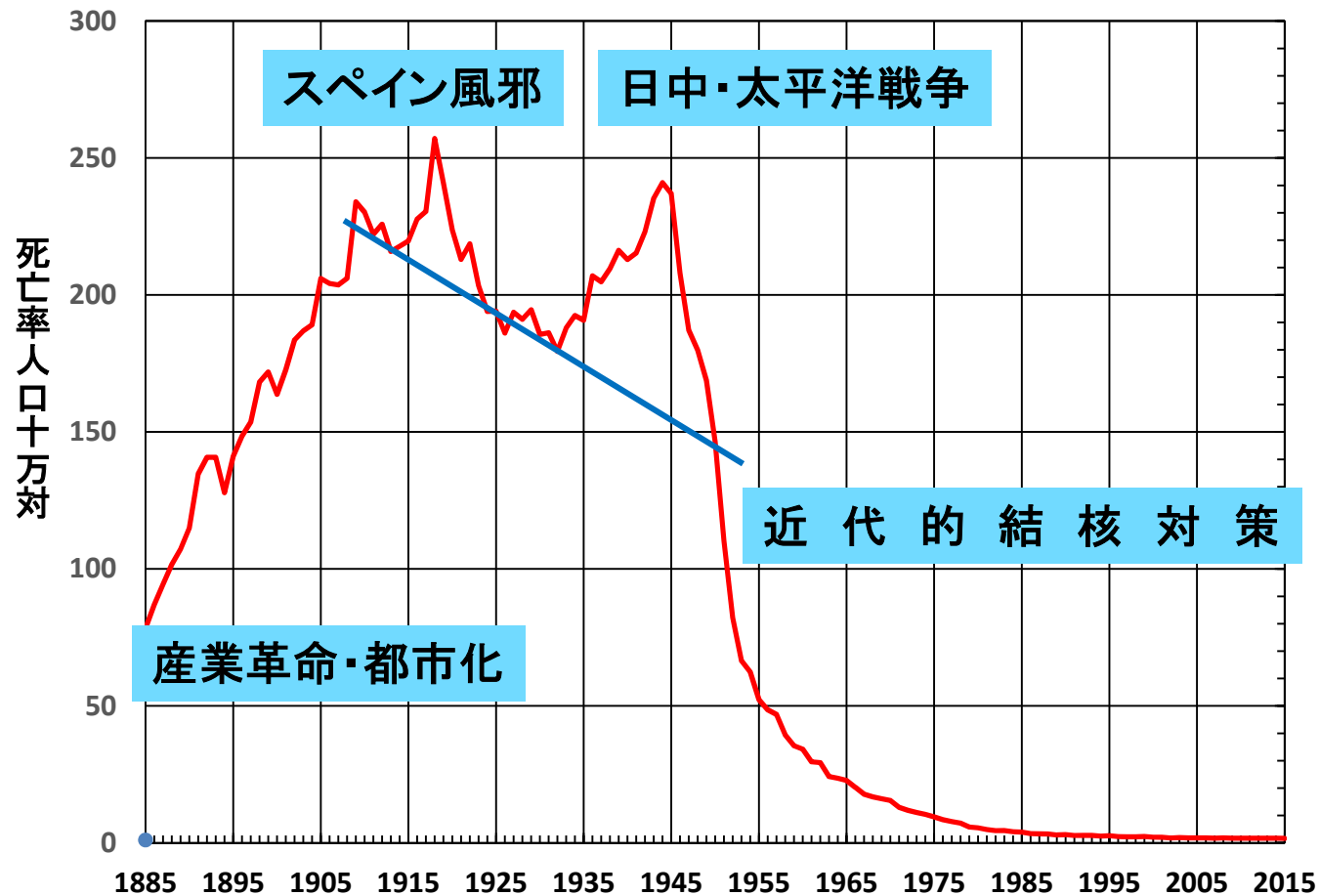
社会閉鎖による影響、罹患率および死亡



(Stop TB Partnership, 2020)

「亡国病」結核：猛威と鎮静化

結核死亡率3つのピーク①1909年 234/10万 ②1918年 247 ③1944年 241

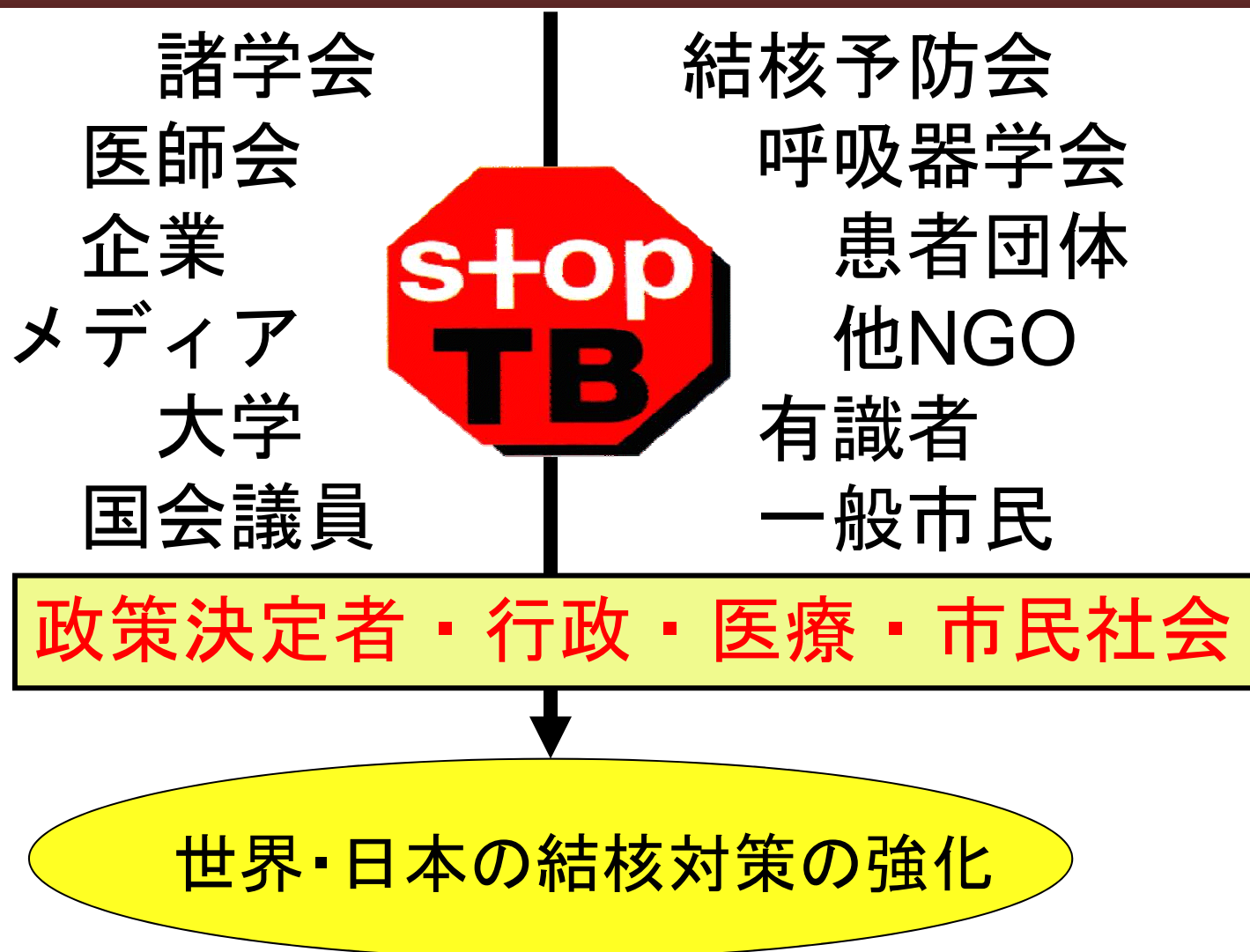


過剰死亡：スペイン風邪(1917-20) 6.5万人、戦争(1931-1948) 49万人

Stop TB Partnership

IN THE FIGHT AGAINST TB THE HERO
COULD BE YOU

ストップ結核パートナーシップ・日本



STB日本版がついに発足!!

2007年11月19日、753名(国会議員208名)が共同で設立

理事

- 石川信克(結核研究所 所長)
- 石川廣(大塚製薬抗結核薬プロジェクトディレクター)
- 伊藤瑛位子(特定非営利活動法人アースマザー理事長)
- 稲場雅紀(アフリカ日本協議会 ディレクター)
- 内田健夫(日本医師会 常任理事)
- 小野崎郁史(世界保健機構 結核対策課)
- ● 金子洋(結核予防会 専務理事)
- 坂谷光則(近畿中央胸部疾患センター院長)
- ● 白須紀子(日本リザルツ 常務理事)
- 武見敬三(東海大学教授)
- 田辺功(朝日新聞 編集委員)
- 中畔都舎子(結核予防婦人会 会長)
- 並木能子(元日本経済団体連合会事業本部長)
- 橋本岳(衆議院議員)
- 浜田昌良(参議院議員)
- 広中和歌子(参議院議員)
- 森川惇二(栄研化学 専務執行役)
- ● 森亨(結核病学会 理事長)
- は代表理事



監事

小林義雄(日本患者同盟 会長)

諮問委員

- 青木正和(財団法人結核予防会 会長)
- 伊藤雅治(全国社会保険協会連合会 理事長)
- 尾身茂(世界保健機関 西太平洋地域事務局 事務局長)
- 唐澤祥人(日本医師会 会長)
- 黒川清(内閣特別顧問)
- ジェイコブ・クマレサン(WHO神戸センター 所長)
- 島尾忠男(財団法人エイズ予防財団 会長)
- 高久史麿(日本医学会 会長)
- 仲村英一(財団法人結核予防会 理事長)
- 山下武子(保健師、女性の健康づくり推進懇談会委員)



ストップ結核パートナーシップ日本の活動

- アドボカシー活動
- 普及啓発活動
- 対策事業支援事業



TOKYO TOWER LIGHT UP

9月26日(水)のライトアップ

結核のない世界へ～東京タワーレッドライトアップ～

9月24日～9月30日は、結核予防週間です。

日本と世界の結核の結核終息へ向けて、26日はシンボルカラーである赤のライトをまといます。

日没～23:00

23:00～翌明け方迄



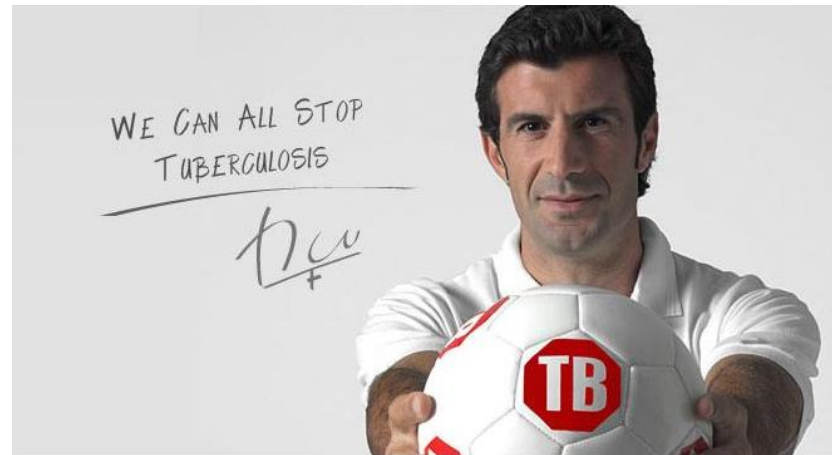
ストップ結核パートナーシップ日本にようこそ ！！！！

会員の条件

- ☐ 2050年、**結核のない世界**が実現することを目指す。
- ☐ **会合やイベント**にできるだけ参加する。
- ☐ 機会があれば、周りの人に**ストップ結核！**と**宣伝**する。
- ☐ 事務局からのお知らせやホームページの**情報**にできるだけ目を通す。

入会金 0円

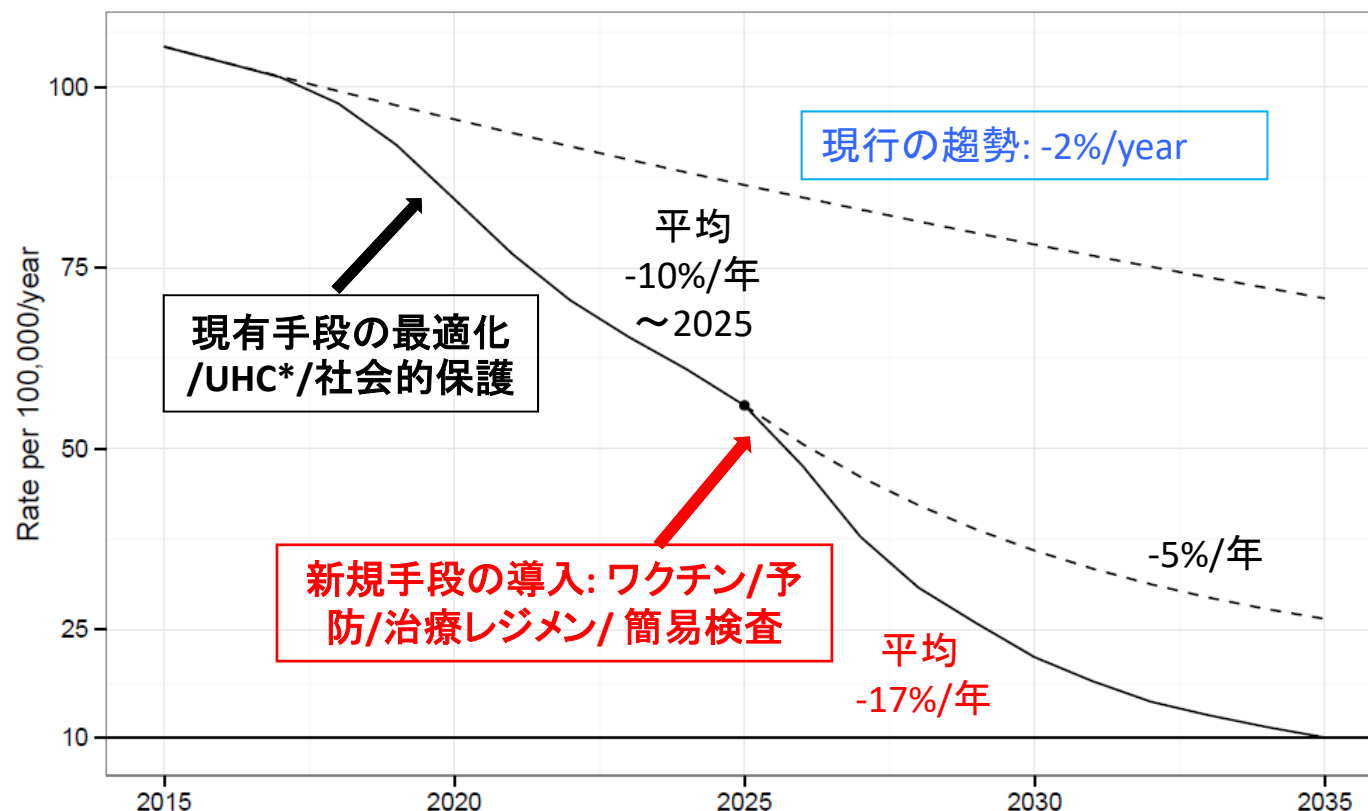
年会費 0円



ストップ結核大使 ルイス・フィーゴ

End TB（結核終息）への道のり

(WHO Global TB Report, 2020)



* UHC: Universal Health Coverage. 誰もが費用の懸念なく医療サービスを利用できる社会体制



2021年改定ストップ結核ジャパンアクションプラン

外務省・厚生労働省・独立行政法人国際協力機構
公益財団法人結核予防会・ストップ結核パートナーシップ日本

- WHOストップ結核世界計画(2006-2015) → ストップ結核ジャパン・アクションプラン(2008年)
- WHO世界結核終息戦略(2015-2035) → 改定ジャパンプラン(2014年)
- 国連総会結核ハイレベル会合政治宣言(2018年)*
新型コロナウイルス感染爆発(2020年) → 改定ジャパンプラン(2021年**)

* 持続可能な開発目標3.3「2030年までに結核を終息」

**タイムラインは2025年、必要に応じて見直しも



STBJアクションプラン

結核終息をめざす日本の対策の目標と里程碑

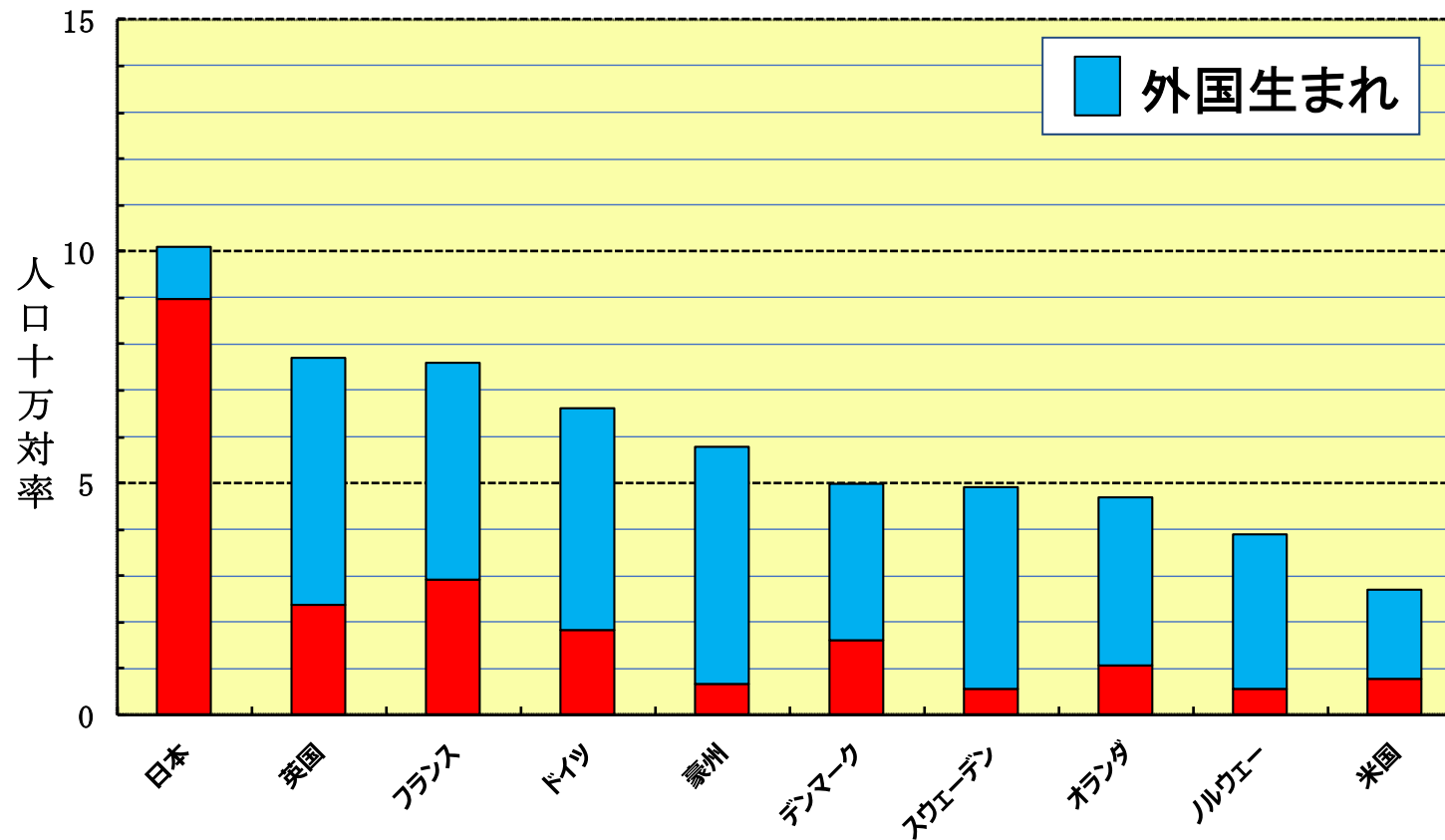
- 2025年までに
 - 罹患率低下速度(年7%)を年7.5%にアップ、罹患率を人口十萬対7に
- 2035年までに
 - 年12%の低下速度で罹患率を人口十萬対2とする
- 1980年までの日本の結核罹患率の低下速度は年12%、これに加えて新技術の開発・適用を前提に





日本はいまだに結核中進国

(結核罹患率、2020年、米国2019年,他は2018年)



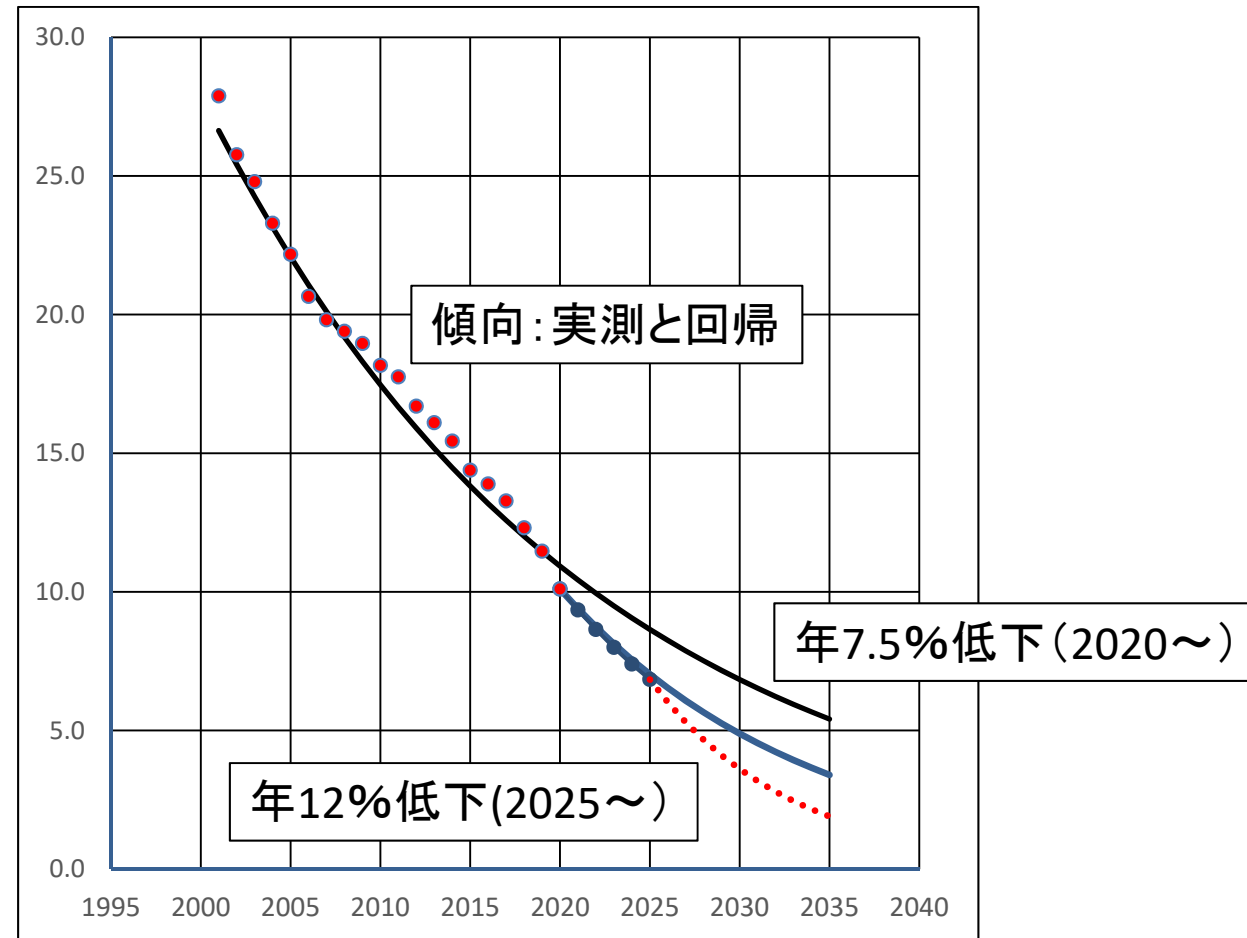
European Centre for Disease Prevention and Control/WHO Regional Office for Europe, Tuberculosis Surveillance and monitoring in Europe 2020-2018 data.

MMWR 70(12), 2021

Communicable Diseases Intelligence (Australia), 2020, vol 44.



罹患率2025/2035への努力目標



ストップ結核ジャパン新アクションプラン

国内対策の重点目標

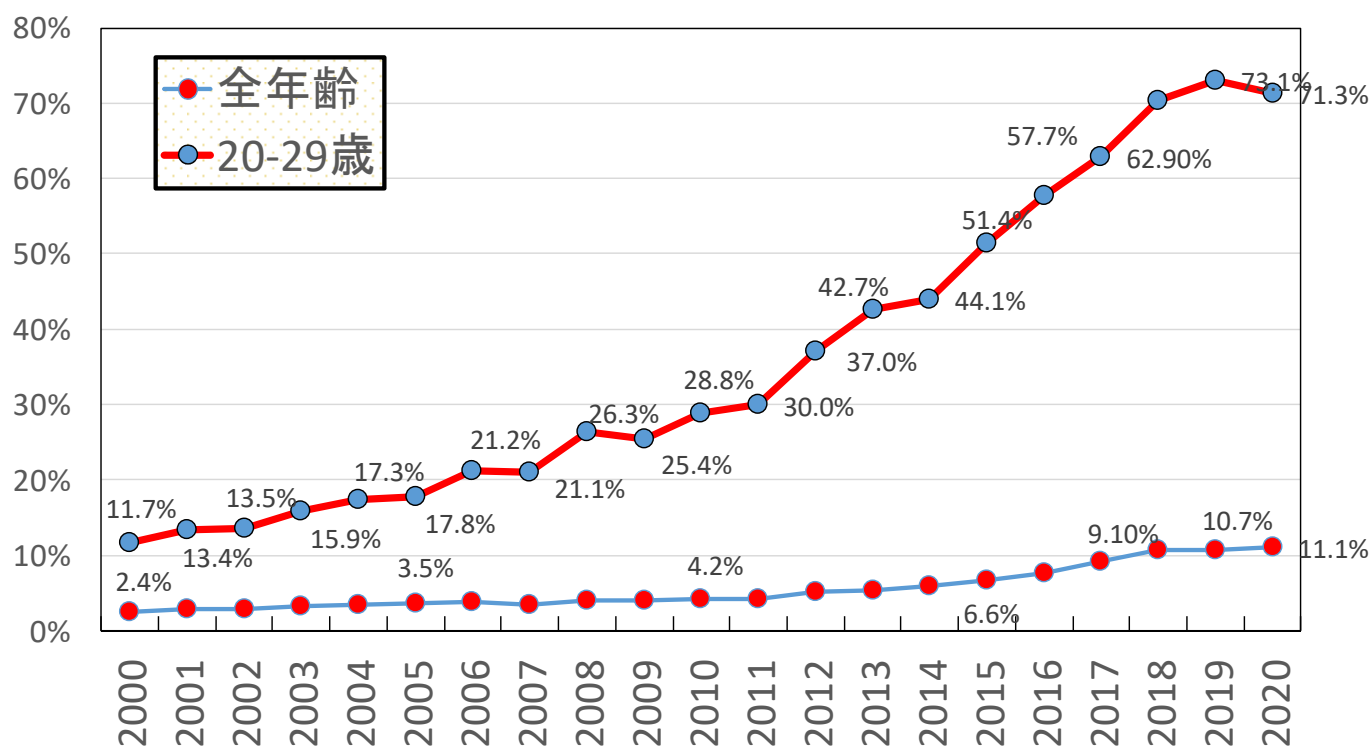
- 外国出生者、高齢者、ハイリスクグループ対策の強化
- 潜在性結核感染症患者の治療を推進
- 新型コロナウイルス感染症の流行によって損なわれた医療提供体制の早急の再構築
- 新しい技術・対策の開発研究
- 人材の養成と技術支援の強化





新登録患者中外国生まれの割合

(2000-2020年、全結核、全年齢vs20-29歳)



(結核の統計)

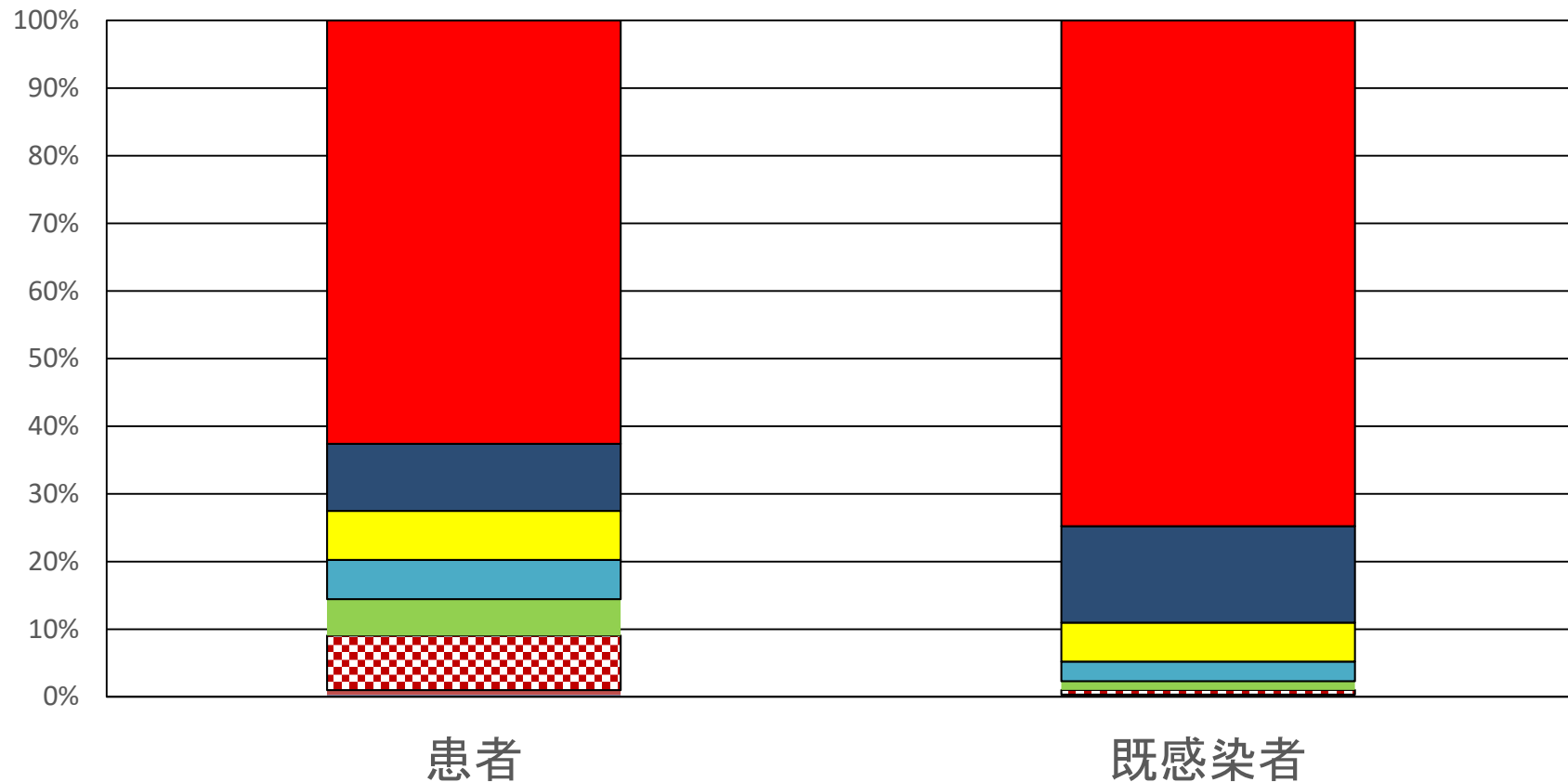


情は人のためならず



国内問題としての途上国の結核問題

患者・患者予備者の年齢は？



■ 0-9歳 ■ 10-19歳 ■ 20-29歳 ■ 30-39歳 ■ 40-49歳 ■ 50-59歳 ■ 60-69歳 ■ 70歳+

世界目標を達成するための日本の貢献 革新的な技術のブレイクスルーと普及に貢献

- 新規結核**ワクチン**（感染・発病・再発予防、治療）
- **新抗結核薬**及び治療レジメン（特に薬剤耐性結核）
- 革新的**診断**技術やそのための新規**バイオマーカー**
- **潜在性結核感染症**：感染診断や発病リスク予測が可能なバイオマーカー、短期の予防的治療、AIによるX線読影のデジタル化（**CAD**）
- 薬剤感受性早期診断（**全ゲノム解析**による薬剤感受性検査法の開発と積極的な活用を含む）
- デジタル技術の活用：患者教育，患者服薬支援・管理（**e-DOTS**）、臨床データの転送



AI/深層学習によるX線写真自動読影



Lunit INSIGHT

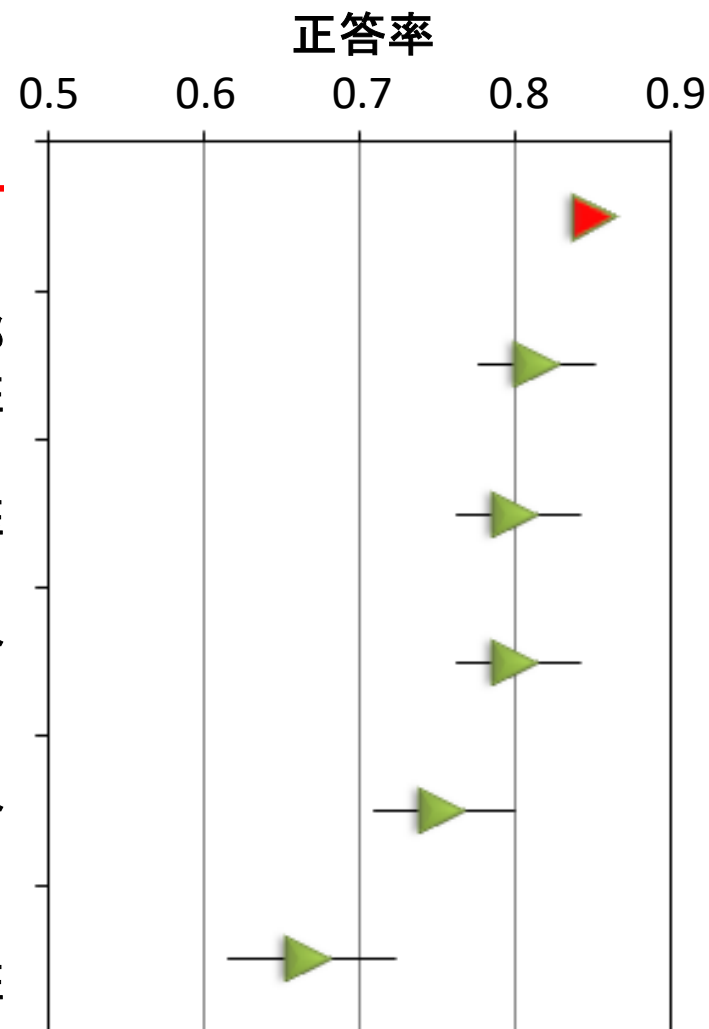
胸部
放射線科専門医

放射線科認定医

同上レジデント
(3-4年)

同上レジデント
(1-2年)

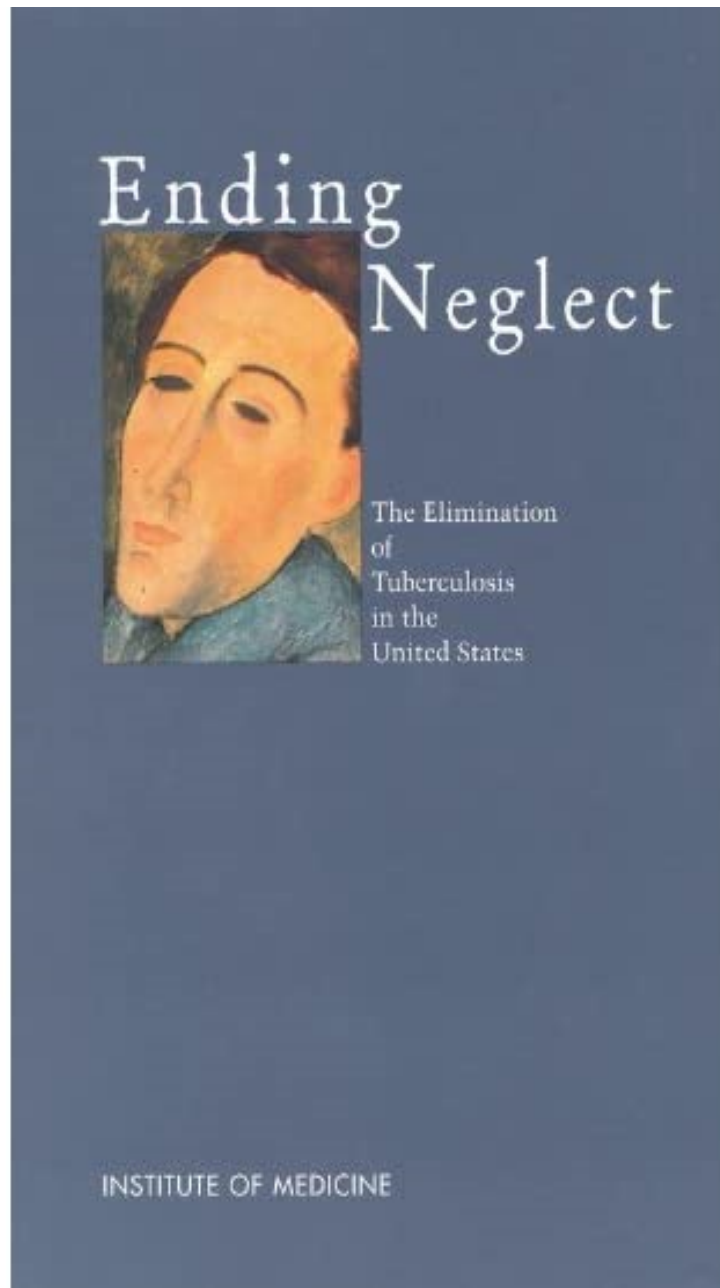
一般内科医



もう軽視はしない

**Lawrence Geiter (ed)
Institute of Medicine**

***CDC. CDC's Response to
Ending Neglect: The
Elimination of
Tuberculosis in the United
States. CDC; 2002.***



ご静聴ありがとうございました。
ご質問をどうぞ。

